

# 環境から始めるSDGs 活動のヒントと事例

## 埼玉県浄化槽協会



一般社団法人埼玉県浄化槽協会  
埼玉県生活環境保全協同組合



埼玉県 環境部

### 埼玉県の支援策

### 【埼玉県環境SDGs取組宣言企業制度】



埼玉県では、環境分野のSDGsのゴールの達成に向けた取組を宣言し、一定の要件を満たす企業等の取組を県ホームページ等で発信し、支援しています。

#### ・対象

埼玉県内に本社又は支社等を有し、県内において事業活動を行う企業、法人、団体、個人事業主

#### ・宣言企業のメリット

- ✓ 県ホームページ等で環境分野のSDGsの取組がPRできます。
- ✓ 先行事例の情報収集や企業等のネットワークづくりができます。
- ✓ 地域での信頼獲得や新たな事業機会の創出につながります。
- ✓ 取組のPRで企業イメージが向上し、多様な人材の確保につながります。
- ✓ ビジネスの取引条件に対応できます。
- ✓ 社会的な課題への対応により自社の取組が深まります。

#### 【手続きについて】

自社の取組と環境SDGsを関連付けてみましょう

#### ■ ステップ 1 取組宣言書の提出

はじめに、取組宣言企業となるための「宣言書」を御提出ください。

宣言後、県ホームページの一覧表に企業等の名称、取組項目等を掲載します。

#### ■ ステップ 2 取組報告書の提出

以降、原則1年ごとに進捗状況を確認し、「取組報告書」を御提出ください。報告後、報告いただいた取組内容、成果、PRポイント等を県ホームページに掲載します。

環境SDGsの取組を更に進め、継続しましょう

お問合せ：埼玉県 環境部 環境政策課  
(電話：048-830-3019 メール：a3010-11@pref.saitama.lg.jp)

# CONTENTS

- SDGs活動を目指して ..... 2
- SDGsとは ..... 3
- ここから始める環境SDGs活動 ..... 5
- 浄化槽関連業界の環境SDGs活動のヒント ..... 7
- 取組事例 ..... 9
  - 浄化槽協会職員を対象とした環境SDGsアンケート
  - 大阿蘇水質管理株式会社様
- 埼玉県の支援策 ..... 15
  - 埼玉県環境SDGs取組宣言企業制度



# SDGs 活動を目指して

(一社) 埼玉県浄化槽協会は、浄化槽の普及促進と適正な製造、施工、保守点検及び清掃を推進することにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与することを目的として設立されました。また昭和62年には埼玉県知事から浄化槽法に規定する指定検査機関として指定を受け、県内28市町において法定検査業務を行っています。

浄化槽は今日、下水道と並ぶ汚水処理システムとして、欠くことのできない社会インフラになっており、「川の国 埼玉」の水環境保全において重要な役割を担っています。また、人口減少が進み都市計画が見直されている現在、効率的で環境に優しい浄化槽の価値が再認識されています。一方、環境省では、途上国が直面している水環境保全の課題に貢献する事業として、我が国独自の優れた分散処理施設である浄化槽の海外展開を積極的に進めています。

私たちは将来にわたり、浄化槽の整備や維持管理などを通じて、快適に安心して水を使うことができる生活を県民の皆さまに提供していきます。また、浄化槽の使い方や役割に関して正しく理解していただくよう、環境学習や社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。これらの活動は、環境・社会・経済のバランスの取れた持続可能な世界を目指すSDGsにつながるものです。

会員企業の皆さまと協会職員は、日頃の業務や活動がSDGsに関連していることを正しく理解し、工夫と改善でよりSDGsに貢献することを目標としています。

2030年のゴールと将来のカーボンニュートラル社会を目指して、責任と誇りを胸に浄化槽事業を展開していくことが望まれます。本冊子は、皆さまのSDGs活動の契機となることを願い、埼玉県環境部様、一般社団法人埼玉県中小企業診断協会様と作成しました。

一般社団法人 埼玉県浄化槽協会

# SDGsとは

地球温暖化が進むことで、今後豪雨災害や猛暑のリスクが更に高まることが予想されています。

SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない」より良い世界へ変革することを目指して、

- ①貧困や飢餓、教育などの**社会**の課題
- ②エネルギーや資源の有効活用、働き方や不平等など**経済**の課題
- ③気候変動など地球**環境**の課題

という、3つの側面から捉えることのできる17のゴールを、自分事として、私達が事業活動や普段の生活から、少しずつ未来の子供たちに良い社会、地球を引き継ぐことができるように活動していくものです。



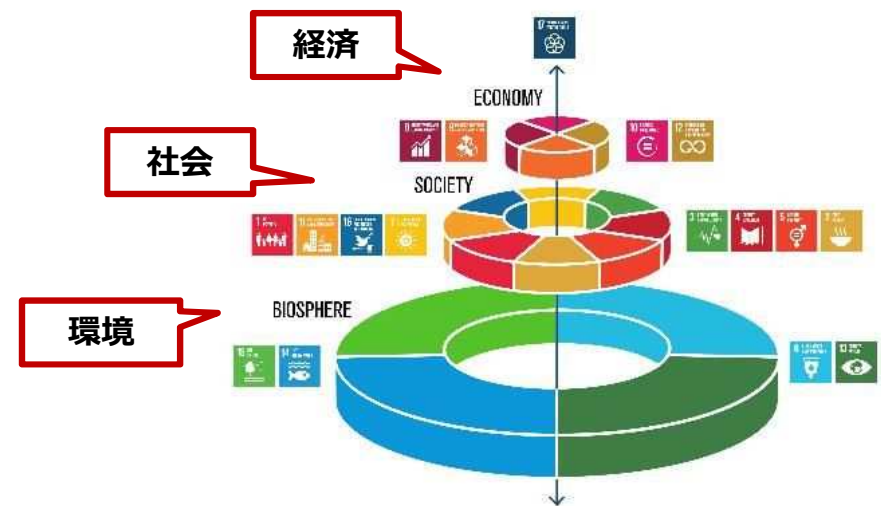
# SDGsとは

埼玉県環境部から

SDGsは17のゴールのうち「6 安全な水とトイレを世界中に」、「12 つくる責任 つかう責任」、「13 気候変動に具体的な対策を」など、9つのゴールは水環境保全、廃棄物問題、地球温暖化といった環境技術の課題に大きく関わっています。

下図で示されるように、SDGsは環境を基盤に持続可能な社会や経済を築くことを目指しています。

埼玉県環境部では、SDGsやパリ協定の採択、ESG投資の拡大で、企業等に環境配慮の取組がより一層求められていることから、一般社団法人埼玉県浄化槽協会様をはじめとする関係団体様や企業様等の環境分野のSDGsへの取組を支援していきます。



出典：Stockholm Resilience Center

# ここから始める環境SDGs活動

## 1. 実はすでに取り組んでいる「環境SDGs」活動

これから、SDGs活動に取り組もうとしている方も多いはずですが、浄化槽関連事業は、生活排水の汚水処理施設として製造、施工、保守点検、清掃、検査の適切な連携が求められる重要な社会インフラです。家庭や各事業所などから排出された生活排水を、直接河川に放流することなく、微生物の働きを利用して汚水を浄化する施設として、安心・安全な水環境を保つ自然共生型の事業です。

浄化槽業界は生活排水の浄化を通じ、水質汚濁を防ぎ、健全な水環境を将来にわたって維持していく業界です。各社が行っている事業そのものが「環境SDGs」活動につながっています。自社では当たり前と行って行っていることをSDGsを通して見直すことで自社の業務に携わっていることに誇りを持ち、社員の皆さんのやる気につながっています。

### 「環境SDGs」活動の例

- ・ 浄化槽の適切な管理や効率的な水の使用をにアドバイスしている。
- ・ 地元の水環境保全活動に参加し、河川の清掃などを行っている。
- ・ ISO14001を取得、研修を受講した。

等々



## 2. 事業活動の様々な場面でも取り組んでいる

現代においては、あらゆる業界で、現在の事業活動の中で環境面の取組は、必要不可欠なものです。環境面に取り組むことは、ムダをなくすことであり、コストダウンなどにつながります。下記のように既に取り組んでいる事項もあると思います。



- ①環境に配慮した点検・検査車両の利用
- ②点検・検査は効率的なルートで確認する
- ③エコドライブを推進している

## 【 環境SDGsの基本 】



省エネ・省資源という環境視点をもって品質改善、生産性向上、稼働率向上などの現場改善を行なっていくと、結果として環境改善と経営改善が一緒に図られます。

⇒ 環境SDGsは

**「5S」と省エネ・省資源が基本**

※「5S」とは、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」

5Sと省エネ・省資源は、皆様がすでに取り組んでいます。まずは、難しく考えないで、今やっていることを、見直してみましょう。普通に思える事も他の人から見ると、とても良い活動だったりするんです。

下記の当てはまることはありませんか？

- ✓ 休憩時間は消灯している
- ✓ エコキャブ活動をしている
- ✓ 社内の照明をLEDに変えた
- ✓ 社内の紙は裏紙も使用している
- ✓ エアコンを省エネ型に更新をした
- ✓ 使い捨てプラスチック製品の使用を抑えている
- ✓ デマンドコントロールで自社の電力を見える化している

等々

いくつか、当てはまりましたか？

このような、今まで行ってきていることも、環境SDGs活動の一部です。





# 浄化槽業界の環境SDGs活動のヒント

## 【 保守点検・清掃・法定検査時のポイント 】



### 1. エコ・ドライブの推進

- ✓ 移動用車両のエコドライブ
- ✓ 定期的な燃費検証
- ✓ 個人目標の設定
- ✓ ドライバーごとの運転の癖の把握
- ✓ ドライブレコーダーの設置



省エネ、CO2排出量削減の取組は、7「エネルギー」や13「気候変動」につながります。

### 2. 巡回ルート効率化

- ✓ 曜日、年間での配送ルートの仮説と検証
- ✓ 効率的な運搬ルートの再設定を顧客先に提案



省エネ等を通じた排気ガスの削減の取組は、11「都市」、12「生産・消費」につながります。

### 3. エコカーの導入

- ✓ ハイブリッド車や電動車両の導入
- ✓ 燃料電池運搬車両の導入



運搬時の環境負荷低減の取組は、3「保健」、11「都市」につながります。

### 4. 環境負荷の低減

- ✓ 浄化槽の適正な維持管理
- ✓ 排水流出先の水環境の把握
- ✓ 汚水による臭気の防止



洗車方法等の見直しの取組は、6「水・衛生」につながります。

### 5. 車両洗車・清掃時の対応

- ✓ 洗車方法の見直し
- ✓ こまめな清掃 等



# 浄化槽業界の環境SDGs活動のヒント

## 【 事業所のポイント 】

### 1. 分別回収の徹底

- ✓ 廃棄物の分別回収
- ✓ 顧客の廃棄物分別を支援
- ✓ 最終処分量の削減・減容化に取り組む



分別処理徹底の取組は、廃棄物の削減を通じて、11「都市」、12「生産・消費」につながります。

### 2. 水環境への環境負荷を防止

- ✓ 浄化槽管理者への環境負荷に関するアドバイス
- ✓ 事業所における節水活動
- ✓ 排出された水処理の管理



水の環境負荷低減取組は、3「保健」、6「水・衛生」につながります。

### 3. 新製品開発への協力

- ✓ 製造メーカーと協力し、よりよい浄化槽の開発に向けた情報交換
- ✓ 消費エネルギーの削減につながる取組



新商品開発への協力は、海や森林の天然資源の持続可能な利用や生態系の保護を通じ、12「生産・消費」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」につながります。

### 4. 地域への貢献

- ✓ 地域の方へ浄化槽に対する広報活動の実施と情報交換
- ✓ 環境コミュニケーションの実施



地域への広報活動や環境コミュニケーションの実施は、4「教育」につながります。

■本コーナーは「埼玉県生活環境保全協同組合」関根理事長、武井副理事長にご協力をいただきました。

株式会社リビングストーン  
さいたま市西区宝来  
1425-1  
代表取締役 関根学



株式会社東環エンジニアリング  
本庄市本庄1-4-1  
代表取締役 武井晶裕





## (一社) 埼玉県浄化槽協会

### 新たに発見した環境SDGs。

#### — 浄化槽の普及・維持管理と法定検査を通じて、水環境保全に貢献 —

##### ■ SDGsに取り組むきっかけ

当協会は、日頃から浄化槽を通じてSDGsのゴール6“水と衛生”に直結する生活環境及び水環境の保全に寄与する事業を実施しています。一方、多くの会員及び職員は日常業務とSDGsとの関係について認識は薄く、特にSDGsそのものに対する理解は浸透していません。

浄化槽の事業は水の他に廃棄物や資源リサイクルに関係しています。また、将来の脱炭素化を考慮した取組も必要になっています。

SDGsを正しく理解し、意識して取り組むことで、働きがいが生れます。またSDGsへの貢献は業界および協会のイメージアップにつながります。

##### ■ SDGs活動のはじめの一歩

法定検査を主にしている協会職員を対象に、SDGsに関連する内容をアンケートで調査し、日頃の業務や取組とSDGsの関係を自分事として理解してもらうことにしました。また、すぐにも取り掛かれる内容等を明らかにし、今後の事業展開や改善の指針にしていきます。

##### ■ アンケートの方法等

- ・実施機関：(一社)埼玉県中小企業診断協会
- ・対象：浄化槽協会職員 55名 (内訳：事務員21、検査員34)
- ・方法：Googleフォームを利用したwebアンケート
- ・時期：令和3年10月1日～8日
- ・内容：企業のための環境分野のSDGs取組ガイド(埼玉県環境部作成)の項目から、浄化槽関連分野の取組を主に選定し作成
- ・項目(設問数)
  - ◎各職員が日頃の業務活動等で取り組む項目
    - ・廃棄物(3) ・3Rの推進(8)
    - ・省エネ(7) ・水の管理(2)
  - ◎主に事業所として取り組む項目
    - ・気候変動(5) ・化学物質等(5)
    - ・生物多様性(3) ・再生エネ利用(1)
    - ・環境マネジメント(2) ・環境情報開示
    - ・11.人材育成/環境学習(2)
    - ・社会貢献活動(3) ・環境配慮製品(1)
    - ・環境課題解決の製品/サービス開発(1)

### ■ アンケート結果 (抜粋)

#### 【廃棄物】 廃棄物の管理を適正に行い、適正な処理に取り組んでいる

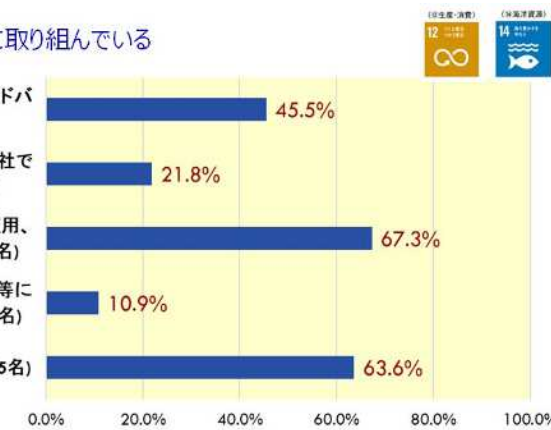
- ・エコバックを活用し、ポリ袋をもらわないようにしている。(44名)
- ・廃棄物の種類、量など現状を把握し、適正に管理、排出している。(20名)



- ✓ 大半の職員はエコバックを使用し、使い捨てのポリ袋はもらわないようにしています。
- ✓ 廃棄物の管理については不十分と言えます。

#### 【3Rの推進】 リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる

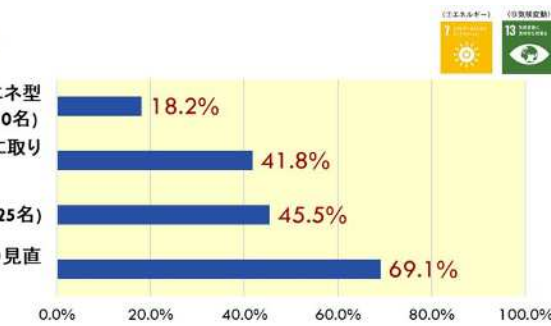
- ・浄化槽の検査では、設備や消耗品を長く使えるようにアドバイスをしている。(25名)
- ・紙、金属くず、食品残さ等、リサイクル可能なものを、自社で又は他の業者に委託してリサイクルしている。(12名)
- ・使い捨て製品の使用抑制や詰め替え可能な製品の使用、備品の修理等により、製品等を長く使用している。(37名)
- ・ペーパーレス化、生産工程の見直し、包装材の簡素化等により、事業活動で使用する資源の量を見直している。(6名)
- ・分別を徹底し、廃棄物の排出量を削減している。(35名)



- ✓ 多くの検査員は、検査の際にお客様に設備や消耗品について適切にアドバイスをしています。
- ✓ 廃棄物の削減や再利用を行っています、より一層の取組が望まれます。
- ✓ DX推進にともなうペーパーレス化は今後の大きな課題です。

#### 【省エネ】 省エネルギー対策に取り組んでいる

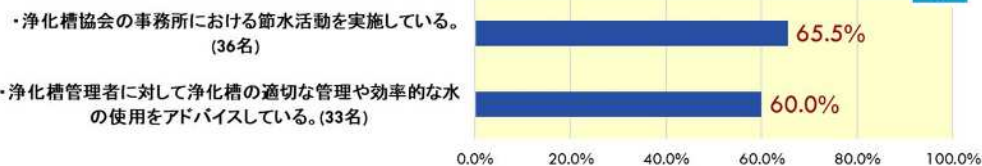
- ・LED照明、高効率の空調設備やボイラ等、省エネ型の機器、設備への切り替えに取り組んでいる。(10名)
- ・検査への移動は最短ルートを設定し、CO2削減に取り組んでいる。(23名)
- ・検査への移動はエコドライブに取り組んでいる。(25名)
- ・不要な照明を消す等、照明や空調の使用方法の見直しに取り組んでいる。(38名)



- ✓ 多くの検査員は移動に最短ルートを設定し、エコドライブを心掛けています。
- ✓ 省エネを心掛けていますが、省エネ設備への切り替えは不十分のようです。



## 【水の管理】 水資源の利用状況の管理や利用効率の改善に取り組んでいる



✓ 検査員は皆、お客様に浄化槽の適切な管理や水の利用を説明しています。

## 【気候変動】 気候変動（温暖化）対策に取り組んでいる



- ✓ 災害時の事業継続計画は未策定ですが、災害時における浄化槽の点検・復旧等に関する応援協定を県と締結しています。
- ✓ クールビズ・ウォームビズ等の暑さ・寒さ対策に、より一層取り組むことが望まれます。

## 【生物多様性】 生物多様性や生態系に配慮している



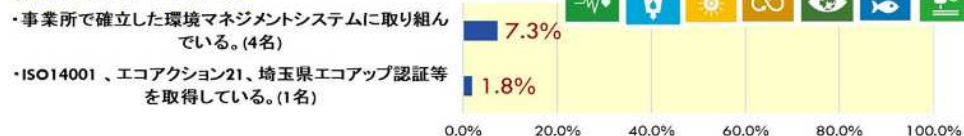
- ✓ 生物を保全するための活動や配慮は不十分のようです。
- ✓ 多くの検査員は、浄化槽排水の流出先を把握し、水環境の状態を確認しています。

## 【再生エネなどの利用】



- ✓ 事業所での再生エネルギー利用は今後の課題です。
- ✓ 環境省の省エネ補助事業の活用を積極的に会員やお客様に働きかけていきます。

## 【環境マネジメントシステム】



- ✓ 環境マネジメントシステムの確立やエコアクション21を活用した事業経営、埼玉県エコアップ認証等の取得が望まれます。

## 【環境情報開示】



- ✓ 浄化槽の維持管理状況や検査結果など、可能な範囲から積極的に情報開示していくことが望まれます。

## 【人材育成・環境学習】



- ✓ 自治体が主催する環境イベントなどに参加してきましたが、環境学習などへの協力が望まれます。
- ✓ 社内研修の実施や社外での環境保全活動を進めていきます。

## 【社会貢献活動】



- ✓ 職員による地域の環境保全活動を支援していきます。
- ✓ さいたま緑のトラスト協会に協力しています。また、他団体等への支援も進めていきます。

## アンケートの結果から

- 法定検査を担当している検査員は、浄化槽を通じた水環境保全の重要性を十分に認識しており、日頃からお客様に丁寧に説明するなど“水と衛生”の取組を行っています。
- 最新型の高効率機器への改修や先進的省エネ浄化槽への交換、再生エネルギーを活用した浄化槽システムの導入を推進するなど、温暖化対策に積極的に取り組むことが期待されます。
- 環境マネジメントシステムの確立や環境学習、社会貢献活動の支援など、協会組織として取り組むことが必要な課題が明らかになりました。

## ■協会概要

創立 1977年(昭和52年) 理事長 日野邦英  
 事務局本部 : さいたま市浦和区高砂4-2-4 (鈴木商事第2ビル2階)  
 法定検査部・総務部 : 深谷市田谷11  
 法定検査部杉戸支所 : 北葛飾郡杉戸町清地5-4-10  
 URL : <https://saijohkyo.or.jp/>





## 大阿蘇水質管理株式会社

代表取締役 江藤 真吾様

### 「社員の行動に経営理念やサステナビリティを定着させていく」

#### ■ SDGsに取り組むきっかけ

子供の頃から私自身「自然」が大好きで「SDGs」が提言される以前から環境問題を気にかけていました。「SDGs」について色々な場面で知識を得る機会が増え、当社の浄化槽保守点検やディスプレイ事業などはSDGsの理念と通じるころがあり、取り組んでみようと考えました。浄化槽は公共下水道と変わらぬ処理能力を持っていますが、「浄化槽の三つの義務」である「保守点検」「清掃」「法定検査」について認知度が低く、課題が多くあります。そのため、浄化槽の環境へ果たす役割について啓蒙活動が必要と考えていました。

#### ■ SDGs活動のはじめの一步

当社は、水まわりを中心に豊かで快適な生活文化を創造することで社会の発展に貢献する企業を目指しています。そのような中で、全ての社員が自然環境について興味を持ち、自然を壊さずに済むように、我々人間の行動を是正しなければいけないと思います。

自然環境を守り、人々の行動への変化へつなげることができるのは企業であり、企業の役割

であると考えています。当社は15年前から地域住民の皆さんと社員と一緒に「綾瀬川を綺麗にする会」を立ち上げ、休日に活動を行い、積極的なコミュニケーションを通じて、相互理解に努めています。川の中に自作の錨を投げ入れ、タイヤ、自転車、バイク等のあらゆる廃棄物を引き上げ、川の中の清掃を実施しており、この活動は市や県、国からも表彰されました。



綾瀬川をきれいにする会



#### ■ SDGs活動の内容

当社は、毎年決算後に経営計画発表会を行っています。その中でこれまでの経営理念を「Mission・Vision・Style」の表現に変更しました。「Mission」は社会的使命とし「Style」では社員に求める思考や行動を明確にしました。本年中に新たに策定予定の「Vision」の中には「サステナビリティ方針」を盛り込む予定です。当社の事業は、生活排水をきれいな水にして

自然へ還すことであり、排水の水質基準を守ることによって地域や環境のサステナビリティにつながるがあります。

まず、当社の事業を見つめ直し、私たち社員全員の行動が、サステナビリティにつながるような、わかりやすいVisionの策定を目指しています。

現在、プロジェクトメンバー10名がコンサルタントと一緒に策定に向けて動いています。

コロナ禍ということもあり、対面での打合せが難しいなかですが、オンラインミーティングを中心に実施しています。



代表取締役 江藤様

#### ■ SDGsを取り入れたメリット

現在取り組みを始めたところで、具体的なメリットはこれから出てくると思います。

9月に実施した経営計画発表会では、中期計画の説明の中でサステナビリティの考え方や背景について説明しました。当社がなぜSDGsを事業に実装するのか、自分の言葉で説明し、自身の考え方を全社員に理解してもらうことができたと思います。

SDGsの考え方を取り入れることで、当社のMissionである「水質への想いを込めたトータルサービスで美しい水環境を次世代に繋げる」の重要性を再認識してくれたのではと考えています。同時にMissionの副文には「すべての社員の可能性を最大化すること」とあり、ダイバーシティ&インクルージョンにも力を入れていきたいと考えております。



#### ■ 会社概要

##### 大阿蘇水質管理株式会社

本社：埼玉県越谷市大林272-1  
創業：昭和50年3月（創業 昭和42年）  
代表取締役 江藤 真吾  
URL <https://oaso.jp/>

#### ■ SDGsを定着させるための施策

当社は昨年、グループ会社2社をホールディングス化しました。これまでの事業環境に応じた組織運営に横串を刺すことで一体化を促進し、お客様の要望にトータルサポートできる体制を整えていきます。社員一人ひとりがホールディングスの基準で行動することで“お客様に提供する価値の最大化”を目的としています。

単に経営理念やサステナビリティビジョンと言われても、具体的にどのような思考や行動を取ればよいのか社員には伝わりません。そこで社員全員が携帯するハンドブックを配布し、その中に

(Good) 行動例、(Bad) 行動例を分かりやすく明記しました。

社内表彰においても、各Styleをより具現化できた社員を表彰するなど、社員のモチベーションの向上にもつなげています。



#### ■ 他社へアドバイス

地球環境へ多大な影響を与えているのは企業活動によるものであり、その課題を解決に導くのも企業の存在が欠かせないと思います。会社の規模に関わらず、身近にできることから少しずつ着実に進めていくこと、その積み重ねが環境保全につながります。

当社は今後、環境問題をはじめとする社会課題に取り組み、その過程の中で新たな事業機会を模索していければと考えております。

作成中のハンドブック表紙



##### クリーンテック東京株式会社

本社：埼玉県越谷市大道478番地  
設立：平成15年12月  
代表取締役 江藤 真吾  
URL <http://disposer.jp/>